

幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」
 ①健康な心と体②自立心③協同性④道徳性・規範意識の芽生え⑤社会生活との関わり⑥思考力の芽生え⑦自然との関わり・生命尊重⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚⑨言葉による伝え合い⑩豊かな感性と表現

2026年度(令和8年度)福山市立東小学校
スタートカリキュラム

東小学校 教育目標
 自ら考え、たくましく生きる子の育成

中央中学校区 めざす子ども像
 ふるさとを愛し、地域の中で、伸びやかにたくましく成長している
育成をめざす力
 ◆学びに向かう力 ●課題発見・解決力 ★自己肯定感

入学時の児童の姿
 ◆関心をもったことに、積極的に取り組む。
 ●先生や友達に、自分の話を聞いてほしい。
 ★友達に声をかけ、関わろうとしている。

東小学校 めざす子ども像
 ◆目標を決め、自らを振り返りながら取り組む。
 ●友達の考えをしっかりと聞き、自分の考えをもつ。
 ★友達と関わり合いながら、自分の良いところに気付く。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期	I				II				III			

育ててほしい児童の姿

- ◆●幼児期の遊びや体験を生かして、様々なことに積極的に取り組もうとしている。
- 思ったことや考えたことを自分の言葉で伝えようとする。
- 準備や片付けなど自分のやるべきことを、自分の力でやろうとする。
- ★友だちや先生との関わりを通して、学校生活に安心感をもつことができる。

生活科を中心とした単元構成

生「ともだちとなかよくなろう」
 ・新しい友達と遊ぶことを楽しむ。★
 ・自己紹介や遊びを通して、友達に親しみをもつ。
 国「どうぞよろしく」
 「あつまってはなそう」
 図「かきたいものなあに」
 体「器械・器具を使った運動遊び」

生「つつがくろでみつけたよ」
 ・通学路や近くの公園で、自分たちの安全を守ってくれている人や施設の存在に気づき、ルールを守って利用する。◆
 ・通学路や公園で出会った人に挨拶をしたり、公共施設の使い方を学んだりする。
 国「こんなもの見つけたよ」
 体「おにあそび」
 道「はちさんのバッジ」

生「なつは おもしろいことがいっぱい」
 ・幼児期の遊びの経験を生かして、夏の遊びを考え、水遊びや砂場遊び・シャボン玉遊びを友達と楽しむ。◆◆
 ・遊びを考えたり、遊び道具や遊び方を試行錯誤しながら、楽しみ、経験したことや思いをおうちの人に伝える。
 国「こんなことがあったよ」
 「としょかんへいこう」
 図「すなや土となかよし」
 体「みずあそび」

生「あきと あそぼう」
 ・身近にある秋に気づき、「秋見つけ」に行き、見つけたもので楽しむ。◆◆
 ・見つけた秋を言葉や絵で表現したり、秋のものを使って楽しむ方法を考えたりする。
 国「しらせたいな見せたいな」
 算「10よりおおきいかず」
 音「はるなつあきふゆ」

生「おいでよ あきのテーマパーク」
 ・秋見つけを生かして、作品をつくりたり、おもちゃを作ったりする。◆◆★
 ・作品展やおもちゃを楽しんでもらう計画を立て、相手意識をもって工夫をする。
 国「もののなまえ」
 「てがみでしらせよう」
 算「かたちあそび」
 「たしざん」
 図「はこでつくったよ」

生「かぞくは なかよし」
 ・家族のよさに気づき、家族が笑顔になる作戦を考え、実践する。◆◆★
 ・家族のために、お手伝いをしたり、楽しむ話をしたりする。
 道「サバンの子ども」

生「もうすぐ 2年生」
 ・自分たちの成長を振り返ったり、新1年生を招待して、学校を案内したりする。◆◆◆★
 ・自分の成長を4月と比べて、文章などで表現し、保護者に発表する。
 ・新1年生の入学への不安を軽減するために、学校生活を紹介する。
 国「いいこといっぱい1年生」「これはなんでしょう」
 道「大すきだから」 学「2年生にむけて」

生「ふゆと あそぼう」
 ・身近にある冬に気付いたり、冬の環境を生かして遊んだりする。◆◆
 ・遊び方を家族に聞いたり、友達どうしで教え合ったりして楽しむ。
 音「にほんのうたをたのしもう」
 図「かみざらころころ」
 道「お正月」

生「はるをさがそう」
 ・校庭など、身近な場所で春の訪れに気付く★
 ・冬の様子からの変化を表現したり、見つけたものの数を数えたりする。
 算「かずをせいりしよう」
 道「お正月」

生「いきもの なかよし」
 ・生き物を探したり、飼育したり、調べたり観察したりし、生き物に親しみをもつ。●
 ・生き物を観察し、大きさや形、数を絵や言葉で表現する。
 ・飼育方を調べたり、話し合ったりする。
 国「うみのかくれんぼ」 算「10よりおおきいかず」「どちらがながい」
 道「げんきでね、あげはくん」 行「社会見学」

生「さいばい「はなや やさい おおきくなってね」「はなや やさいが もっと おおきくなったよ」「たねや みに なったね」
 ・幼児期の遊びや体験を生かして、植え方や育て方を話し合ったり、関心をもって世話をしたりする。◆
 ・春からは、アサガオやサツマイモなどを育てる。 国「つぼみ」「おおきくなった」「しらせたいな見せたいな」
 ・成長の様子を観察して、絵や文章に表したり、花や種の数を数えたりする。 算「かずをせいりしよう」

生「健康的で明るく楽しい学校生活を送ろう」・・・縦割りの班活動を通して、他学年の知り合いを増やし、積極的に人と関わる。

環境

入学当初 弾力的な時間割の設定、なかよしタイムの設定
 ・こども園での活動を生かしながら、広げ、深めていけるよう、絵本や遊び道具等を準備する。(こま、けん玉、あやとり、オセロなど)
 ・給食当番や掃除やカラーチーム(縦割り班活動)などで6年生との関わりをもつ。

通年
 本を身近に・・・学級文庫、学校図書館の学級貸出、図書館の団体貸出の活用
 ・朝読書、給食準備中に読んだり、すぐに本で調べたりできるようにする。
 ・担任や図書館司書による読み聞かせ、ボランティアによるお話しレストラン開催。

視覚的支援
 ・片付ける場所や生活の流れ、準備物などを絵や写真で可視化して提示。
柔軟な学習形態
 ・学習内容に応じて教室以外の場所を使ったり、机や椅子を取り払ったりした学習形態の授業を行う。

連携	幼保	4月 スタート訪問① こども園の先生に本校に来て頂き、手遊びや読み聞かせ等をしてもらい、安心感につなぐ。	4月 授業参観(参観日) こども園の先生に本校に来て頂き、入学後の子ども達の様子を見てもらう。	5月 スタート訪問② こども園の先生に本校に来て頂き、ふれあい、連休前後の子どもたちの登校への期待感・安心感につなぐ。	5月 運動会交流 低学年の練習に年長児を招待する。	6月 生活科招待 「なつはおもしろいことがいっぱい」に年中長児を招待する。	8月 保育参観・合同研修 こども園の保育の様子を小学校職員が参観し、こども園の職員と合同で話し合いを行う。	10月 音楽発表会交流 校内発表会・練習に年長児を招待する。	11・12月 生活科招待 「おいでよ 秋のテーマパーク」に年長児を招待する。園職員に参観してもらい、合同で教材研究を行う。	12月 国語科お手紙 「てがみでしらせよう」で保幼の先生に手紙を書き、自分の成長を感じる。	1月 図工科招待 「造形遊び」に年長児を招待し、共に作る喜びを感じ、小学校での活動になれる。	2月 研究授業・合同研修 低学年の授業の様子をこども園職員に参観してもらい、合同で教材研究を行う。	2月 小学校体験会 1年生が年長児を招待して、授業を紹介したり、校内を探検したり、一緒に遊んだりする。	3月 出張授業 1年担任がこども園を訪問し、年長児に授業を行う。 入学児連絡会
		連携協議会 実践交流やカリキュラム交流、保幼小に関わる話し合いを行う。												

家庭

入学時
 ・学級懇談会や通信を通して、1年間の活動内容や方針を知らせ、入学に対する保護者の不安を受け止める。
 ・気持ちのよいスタートのために、時間割や連絡帳の確認、家庭学習への協力のお願いをする。

通年
発信・連絡・共有
 ・保護者が安心して学校に子どもを通わせられるように、子どもの様子など細やかに連絡を行う。
 ・通信等で、日々の授業や活動児童の考えや気持ちの揺れを保護者とともに共有し、共に認め励ましていくことで、一人一人が自信を持てるようにしていく。

呼びかけ・協力依頼
 ・図画工作科や算数科、生活科などで使う空き容器などの材料集めをお願いする。
 ・おうちの人に向けて書いた文章などにコメントを書いてもらう。
 ・安心して学校生活を送るためには生活リズムを整えることが大切であることを伝え、協力をお願いする。

成長を伝える⇔成長を認めてもらう
 ・参観日や学級懇談会、個人懇談を通して、子どもたちの成長の様子を見てもらったり、説明したりして、成長を感じていただく。
 ・子どもたちの成長に対しての言葉かけやコメントなどによって、子どもたちの自己肯定感や自己有用感の高揚につなげる。